

# 神奈川シニア連合

## 機関紙

# あゆみ

### 2023年 4月26日(水) 第98号

■発行 行 神奈川県退職者連合  
 ■発行責任者 東谷裕明  
 ■連絡先 〒231-0023  
 横浜市中区山下町 24-1 連合神奈川内

【TEL】045-211-1133 【FAX】045-201-8866 【E-mail】Senior@rengo.or.jp

### 学習会&第4回幹事会

## 施設見学・交流会先などを決定

神奈川シニア連合は、4月12日(水) 15時00分からワークピア横浜において学習会と2023年度・第4回幹事会を開催しました。

幹事会の前段に連合神奈川 江口 実組織拡大アドバイザーから「2023年春闘に学ぶ社会・労働環境について」の講演を聞いた後、第4回幹事会を開催しました。幹事会は、安藤洋次幹事(自治退)の開会・議長就任のあいさつに続き、



連合神奈川 江口 実組織拡大アドバイザー

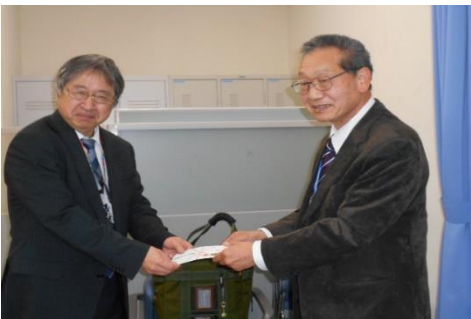
では、①第33回神奈川シニア集会について、②第94回かながわ中央リーダーについて、③連合関東ブロック退職者連合2023退職者連合代表者会議について、④2023年度加盟産別退職者代表者会議の開催について、⑤施設見学・交流会の実施について、

鈴木会長から「4月9日 投票の第20回統一地方選挙で推薦・支持候補者当選に向けた諸行動へのお礼」を述べた後、金井連合神奈川副事務局長からあいさつを受け、引き続き東谷事務局長の第3回幹事会以降の活動報告を全体で確認。協議事項

### ボランティア基金

## 電機神奈川福祉センターへ寄付

神奈川シニア連合五役は、3月15日(水)に新杉田地域ケアプラザの障がい者就労支援事業「ほこ・あ・ほこ」の見学を行った後、鈴木会長から社会福祉法人電機神奈川福祉センター 岡元理事長に神奈川シニア連合ボランティア基金7万円を寄付しました。



見学では、岸岡センター長から「働く力・就業定着・生活向上を目的に研修を行っている。研修内容は国の就労定着施策のモデルにもなった。研修後に企業定年を迎えた人や勤続20年を超える人も多数いる」などの説明を受けました。

電機連合神奈川地協は、1991年の定期大会で電機神奈川福祉センターの設立を決議して以降、横浜・川崎・横須賀・藤沢市の9カ所で開催している自立支援事業、介護支援事業を行っており、その活動内容は地域や労働組合の仲間から高く評価されています。

### トルコ・シリア地震救援カンパ

71,300円を集約

トルコ・シリア地震救援カンパは、3月13日~29日の期間、連合神奈川、所属産別と一体となり取り組みました。カンパ活動は、極めて短期間となりましたが、相模鉄道労組退職者の会から5,000円、五役任意カンパ16,300円、神奈川シニア連合ボランティア基金から5万円の計71,300円を集約し連合神奈川に送金しました。

会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

# 第33回神奈川シニア集会開催



4年ぶりとなる第33回神奈川シニア集会は、4月24日(月) 14時00分からワークヒア横浜において会員など117名の参加により開催しました。

鈴木実行委員長のあいさつ(下表、実行委員長あいさつ要旨参照)に続き、吉坂義正連合神奈川会長、鈴木政雄ろうきん友の会会長のあいさつ

の後、加賀町警察署生活安全課 後藤圭一課長から「特殊詐欺と防止策」について講演を受けました。講演は、DVDの映像を見た後「詐欺には合わない」との自信があっても被害に遭つた。予防策は「①電話を留守電に常時設定し、知らない人の電話には出ない。②お金の話は、必ず家族に相談する。③家族が判る合言葉などを決めておくことも必要」などの話がありました。皆様も詐欺防止の

参考にして頂きたいと思えます。

そして、ミー・コンサートでは、森ケイさんがギターを弾きながら、軽快なトークと参加者と一緒に歌った「今日の日はさようなら」を含め4曲歌い集会が盛り上りました。最後に、次年度の集会で再会することを誓い合い、16時00分に散会しました。

## 介護の悩み無料相談

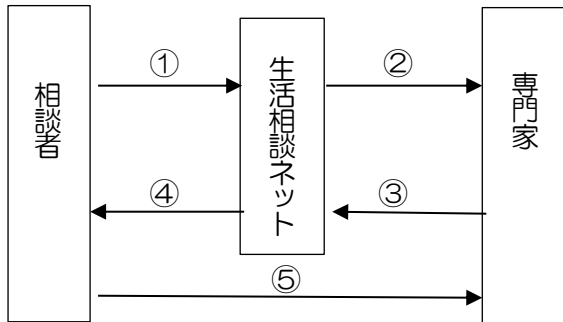
フリーダイヤル

0120-786-579

連合神奈川と神奈川県労働者福祉協議会の配慮により、2020年11月から神奈川シニア連合会員の介護に関する相談を無料で「かながわ生活相談ネット」に受けて頂くこととなっています。

家族の介護の負担や悩み、遠く離れた故郷の両親の介護など、何でも無料で相談を受けてもらえます。

相談は、月曜日から土曜日の10時00分～18時00分に直接フリーダイヤルに電話して下さい。



- ① 相談
- ② 内容に応じて連絡
- ③ 相談日時の連絡
- ④ 相談日時の連絡
- ⑤ 相談日時に電話相談(対面相談も可)

### 鈴木武男 実行委員長あいさつ(要旨)

第33回神奈川シニア集会の開催は、4年ぶりの開催となり①規模を縮小、②短時間で開催、③感染対策の実施などを確認し準備を進めてきた。

新型コロナウイルス感染拡大中は、不要不急の外出やイベントの自粛、濃厚接触者の自宅待機や医療体制に対する不安から、仲間との旅行や観劇などを中止せざるを得ない事態になった。5月8日には、新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行され規制は徐々に解消されると思われる。

私たちは、コロナ禍により生活環境が変化した中で、資格・技能を生かした就労、旅行やサークル活動、地域活動やボランティアなどに参加し元気で充実した日々を過ごすために努力している。しかしながら岸田首相は、閣議で防衛費を5年以内にGDP比2%にすると決定し、その財源を高齢者の医療費の見直しや増税で賄おうとしている。私たちは、ミサイルを必要としていない。生活の糧である年金、医療・介護をはじめとするサポート制度など高齢者の社会保障や福祉制度の充実・向上による平和で安心・安全が保障される明るい未来を必要としている。この集会を機に皆様と知恵と力を合わせ『人生100年時代』にふさわしい「持続可能な社会保障や福祉制度の構築」「住み慣れた地域で元気に・楽しく暮らし続けられる環境づくり」をめざし取り組むこととする。

共に頑張ろう!!